



PRIME観光都市・東京(東京都観光産業振興実行プラン)の新プランに学ぶ —コロナ禍からの観光の復活と観光まちづくりの新たな道筋

帝京大学 経済学部 観光経営学科 大下ゼミ

新型コロナウイルスの影響で観光産業や観光地域は出口の見えない苦境の中にあります。2022年2月に東京都は東京都観光産業振興実行プランの新プランを公表しました。今回は審議会の会長として取りまとめに関わられた大下会長にインタビューした内容をレポートします。

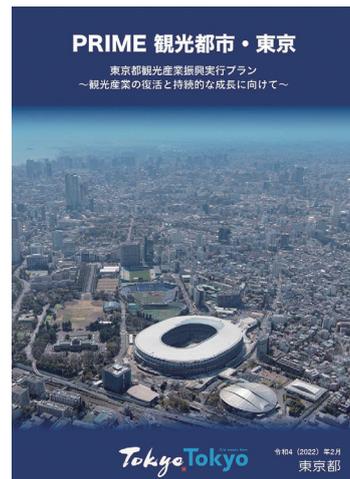
■ PRIME観光都市・東京(東京都観光産業振興実行プラン)とは…

「観光産業振興プラン2013-17」の策定が東京都観光のスタートであり、東京都観光のマスタープランとなりました。その後、東京2020大会の誘致が決定したことから、2017年度から「PRIME観光都市・東京～東京都観光産業振興実行プラン」を年次実行計画として策定しています。オリンピック開催に向けて着実に東京の観光力を高めることを目指して取り組んできたとのこと。

■ 新プランの特徴は…

新型コロナウイルス感染拡大防止の中で、東京2020大会以降の観光の道筋をどのように組み立てるのが注目されていました。新プランは、2022年度と2023年度の2年間において、「観光産業の復活と「サステナブル・リカバリー」の実現」を基本理念としています。全国の多くの地域においては観光旅行者が激減している中で、2020年の訪都日本人旅行者は前年比約38%減程度に収まっていることから、まず、国内観光の復活・需要回復から段階的に取り組むこととし、3つの戦略と7つの施策から構成しています(図参照)。

新プランでは、これまでの実行計画を継承しつつ、①持続可能な観光の推進のために観光地域経営を推進すること、②多様な主体の連携による地域の新たな観光資源を開発すること、③新しい日常に対応した観光スタイルを浸透すること、④地域の危機管理の対応力を強めること、⑤デジタル化への対応・デジタル技術の活用、⑥日本の玄関口として地方との連携強化による地方の観光の活性化に寄与することが、それまでの実行プランよりクローズアップされていることが特徴となっています。



3つの戦略



7つの施策



PRIME観光都市・東京の新プランの3つの戦略と7つの施策

■ 我々がデジタル時代の観光スタイルを変えられる?

新しい日常では、新しい価値観の創出が求められてきます。これまで観光とは無縁の地域もデジタル技術の活用や、これまで観光まちづくりに関わっていなかった私たち若者が参画することで、観光による活性化を実現できるチャンスが近づいてきています。観光まちづくりの最前線の取材に出かけることも規制されてきた2年間、私たちはオンラインで会議をしたり、受講したりする中で、デジタル技術が自然と身近なツールとなり、様々な活用の可能性のあることを体感しました。

新しい日常、新しい観光スタイルは、デジタル世代である私たち若者の観光行動から変わっていくのではないでしょう(飯村将大&まっちい。近藤)

【参考資料】東京都「PRIME観光都市・東京 東京都観光産業振興実行プラン～観光産業の復活と持続的な成長に向けて～」
https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/plan/tourism/total_2022-23.pdf